

事業所名	グループホーム 楽々園 ※
日付	平成19年12月9日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員・介護福祉士 訪問介護員
自主評価結果を見る	リンク
評価項目の内容を見る	リンク
事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）※	リンク

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	理念 ・経営者の両親が介護状態になったときの経験を踏まえ、介護の大変さを理解し、入居者の安全・安心をモットーに家庭的な雰囲気での生活ができるように心がけている。 ・入居者が安心して生活ができるように、精神的安定に努めている。 ・人と人の繋がりを大切にしながら家庭的な雰囲気の中で、その人らしく暮らせるグループホームを目指している。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	・その人を理解することによりできるだけ安心した生活が送れるように、また環境づくりや側に寄り添う事を心がけた対応がなされている。 ・残存能力を活かした対応と、家族の様な雰囲気づくりに取り組んでいる。 ・安心して生活できるように一人一人の個性を大切に考え支援している。 ・買い物や散歩など、外気に触れる事で精神的な安定を図っている。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

1. 評価結果の概要

総評

全体を通して（特に良いと思われる点など）

- ・グループホーム楽々園は静かな田園地帯にあり四季折々の景観を肌で感じることができる自然な環境にあります。
- ・のどかな景観と開放感のある共有のスペースには、外出時のスナップ写真等がコメントとともに飾られています。又 さまざまなイベント会場として家族との交流の場にも活用できています。
- ・共有のスペースは出入りが自由にでき、入居者の憩いの場としてくつろぎの空間であり窓からの景観は心が和みます。
- ・職員の表情がとても明るく、入居者の方は落ち着いた生活ができています。
- ・入居者のプライバシーを大切にした自立支援の対応がなされています。
- ・残存能力を活かした対応と、家庭的な雰囲気づくりに取り組んでいます。
- ・安心した生活が送れるように、寄り添うケアを心がけています。

特に改善の余地があると思われる点

前回提案させていただいた事柄は改善へ向けて努力されており、これからも更に向上される事を期待します。

III ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	・その人らしさを大切にした日常生活の（入浴・排泄・食事など残存機能に合わせた）自立支援と趣味が楽しめる場づくりや、生活習慣（食事の支度・洗濯・掃除など）を支援している。 ・入居者同士がお互いに助け合う場面を大切にし、精神的安定に努めている。 ・個人情報について説明を行い利用者や家族の同意を得ている。 ・共同生活の中でのプライバシーの保護にも努めており、入室時においてもノックや声かけが行われている。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
	・主治医および家族との連携を蜜に行い健康管理に努めている。 定期的にケアカンファレンスや内部研修を行い資質の向上および連携が取れる体制を作りに努めている。 ・勉強会や日々現場での、介護技術の伝達・自己研鑽による職員間の質の向上に努めている。		